

八峰白神ジオパーク構想に関する住民の意識調査アンケート

A resident awareness of geopark based on questionnaire study to the people of Happou Town, Akita Prefecture

林 信太郎^{1*}, 千葉瑠実¹, 佐々木公美¹

HAYASHI, Shintaro^{1*}, Rumi Chiba¹, Kumi Sasaki¹

¹ 秋田大学教育文化学部

¹ Faculty of Education and Human Studies, Akita University

八峰白神ジオパーク構想が進行しつつある、秋田県北部の八峰町でジオパークに関する意識調査を行ったので、その結果について報告する。

八峰町は世界遺産白神山地の麓に位置する町である。2009年5月に八峰町ジオパーク推進協議会が結成され、日本ジオパークの登録を目指して今年度申請の予定である。現在、ジオパークに関する講演会、広報「はっぼう」へのジオパークに関する連載、学校への出前授業、ジオツアー、ガイド講習会などジオパークの取り組みを周知し、住民の間で盛り上げるために様々な努力が行われている。このような状況の中、ジオパーク構想の概念は、どの程度住民に浸透しているのか、戸別アンケートを行い、調査した。

アンケートは2011年12月に行った。八峰白神ジオパーク構想のエリアである八峰町の各世帯を対象に、郵送方式で行なわれた。日本郵便の配達指定郵便で1500部のアンケートを配布し、料金後納郵便で返送してもらった。ジオパークに関するアンケートは、津波に関する防災アンケートと同封で送付した。八峰町海岸地域の1500世帯にアンケートを配布し、回収率は47.8%である。

ジオパークに関するアンケート8項目について質問した。アンケートは、80代の女性でも、短時間で回答できるように、ジオパーク事務局と協議を重ねて設計した。属性(性別・年齢・居住する地区・居住期間)のほかに、8つの質問を行った: ジオパークという言葉の認知度、その情報源、ジオパーク登録活動の認知、その情報源、ジオパーク登録活動への興味、ジオパークへの期待、

参加したい取り組み、取り組みを広めるための手段、八峰町の魅力である。ジオパークの認知度に関する「ジオパークという言葉を知ることがあるか」という質問に対し、「よく聞く」、「時々聞く」と答えた回答者は61%で、「聞いた事がない」の17%、「聞いたことがある気がする」の19%を大幅に上回った。また、ジオパーク認知の手段について聞いた「どこで『ジオパーク』という言葉を知ったか」(複数選択可)については、八峰町広報(52%)、新聞(43%)、テレビ(30%)が上位を占めた。ジオパーク登録活動への興味に関する「ジオパーク登録に興味があるか」については、「かなりある」、「少しある」と答えた回答者は合計59%あり、「どちらでもない」の17%、「あまりない」の15%、「全然ない」の6%の合計を上回った。

ジオパークの認知度と興味の相関関係を調べるために、それぞれを2つの層にわけ、クロス集計を行った。認知度に関する質問で「よく聞く」、「時々聞く」と回答した層を高認知群、「聞いたことがある気がする」、「聞いた事がない」低認知群とし、興味に関する質問で「かなりある」、「少しある」を高興味度群、「どちらでもない」、「あまりない」、「全然ない」と答えた層を低興味群とする。高認知群かつ高興味群である回答は41%、高認知群かつ低興味群である回答は18%、低認知群かつ高興味群である回答は16%、低認知群かつ低興味群である回答は20%である。高認知度群では、高興味群の比率が高く、逆に低認知度群では高興味群の比率が低い。低認知度群に対する広報活動で高興味群を増やせる可能性がある。

取り組みを広めるための手段に関する質問「ジオパークの取り組みをもっと多くの人に知ってもらうために必要なことは何か」という質問には「テレビ」、「広報」、「新聞」があげられた。ジオパークに関する認知度の質問で「かなりある」と答えた19%の層については、「町の広報」、「新聞」とともに「講演会」があげられた。また、この層は、「ジオパークの活動で参加してみたいものは何か(複数回答可)」という設問に、講演会(64%)、現地学習会(50%)と答えた。これらの結果から、一般市民に広くジオパークの活動について広める場合は広報誌やマスメディアが効果的であり、ジオパーク活動に熱心な層を獲得するためには講演会や現地学習会の効果が大きいことがわかる。

キーワード: ジオパーク, アンケート調査, 八峰白神ジオパーク構造, 住民の意識

Keywords: geopark, questionnaire study, Happou Shirakami geopark, resident awareness